

# 2021. 10. 30～31

## 戸隠山 山行報告書

記 柴田



計画書整理 No.

期 間：2021年 10月 30日（土）～ 10月 31日（日）

種 別：合宿

山 域：妙高・戸隠（戸隠山）

参 加 者：河本、柴田

コースタイム：10月30日（土） 6:30 神奈川 →14:30 戸隠キャンプ場

10月31日（日） 6:30 戸隠無料駐車場→ 7:15 鏡池→ 7:45 随神門→ 8:15 奥院  
→ 9:00 五十間長屋→ 9:50 蟻の塔渡り→ 10:10 八方睨→ 11:20 九頭龍山  
→ 12:00 一不動避難小屋→ 13:30 牧場→14:30 無料駐車場

記録

30日（土）に戸隠キャンプ場まで移動し、幕営。翌日戸隠山へアタックし、蕎麦を食べて帰宅した。

以下、詳細

## 1日目 晴

初日は朝 6:30 頃に神奈川を出発した。緊急事態宣言も明けて感染者も減ってきたからか車通りも多かった。環状 8 号線・関越道の練馬から高坂まで渋滞していた。そうした影響もあり、戸隠に到着したのは 14:30 頃の到着となった。初日に蕎麦を食べる予定だったが、周辺の駐車場が空いておらず断念し、戸隠キャンプ場に直行した。キャンプ場もそこそこ人が入っていて、広い敷地の中のあらゆるところにテントが張ってあった。家族連れも多く子供達の楽しげな声が響いていた。サイトからは紅葉して色づいた戸隠山が見え、トイレ等の設備も新しく充実していて素晴らしいキャンプ場だったと思う。夜間の気温もそこまで下がらず 3 シーズン用のシュラフで快眠できた。



戸隠キャンプ場



食事



朝焼け

## 2日目 晴

翌朝 4 時に起き朝食を取って、撤収し 6 時頃キャンプ場を出た。中社の方へ車で 10 分ほど走り、うずら屋さんの予約紙に記名してから、近くの無料駐車場に駐車して登山を開始した。歩き出しの鏡池までの道は舗装路だった。鏡池の風景は山が色づき、池に山が反射してとても綺麗だった。カメラを構えた観光客も多かった。そこから奥社の参道までは平坦な木道を進み、参道に合流してから杉並木の砂利道を 30 分ほど進むと奥社に到着した。



鏡池



随神門



参道

奥社からの登山道入り口の看板には注意書きが沢山書いてあって、一般道ではあるが危なっかしい道である事が窺えた。

初めは危険な道はなく樹林帯の中をグングン高度を上げていった。五十間長屋手前辺りから岩が剥き出しの傾斜のある箇所もあったが、鎖がしっかりついていて安

心だった。五十間長屋を過ぎると一気に展望が良くなり、紅葉した妙高・戸隠高原が良く見渡せた。同時に岩場も多くなり鎖が無いと登るのが大変な箇所も出てきた。1時間もしないうちに蟻の塔渡りに到達した。ナイフリッジを渡るルートとエスケープの鎖付きトラバースルートがあったが、トラバースもイヤな感じだったので、ナイフリッジをそのまま渡る事にした。



五十間長屋



鎖場が多い



蟻の塔渡り

アンカーはそこかしこに打ってあり高度感もあったが、足場もしっかりしていてそこまで恐怖感はなくザイルは出さなかった。後から来るパーティも確保無しで渡る人が多かった。

蟻の塔渡りを渡り切って鎖場をいくつか超えると 15 分ほどで八方睨に到着した、ここが一番景色が綺麗だったと思う。



蟻の塔渡りを渡る人



高原が良く見える



八方睨みから西岳

そこから九頭龍山を経て一不動避難小屋までの稜線は木に囲まれており展望があまり良くなく危険箇所はなかった。

避難小屋から帯岩までは沢筋を降っていく道でビチャビチャしていて途中鎖場もありそこそこ緊張感のある道だった。帯岩から先はゆったりとした下りで 30 分程で牧場に到着した。牧場から 1 時間強歩いて駐車場に到達、うずら屋さんで美味しい新蕎麦を食べて帰路に着いた。



稜線上の道



戸隠蕎麦

## 感想

今回は蕎麦が有名な戸隠へ新蕎麦を食べに行くと同時にキャンプと登山をするという素晴らしい計画でした。天候にも恵まれ、キャンプ場も快適紅葉も見頃で蕎麦も美味しく満喫できました。計画者の河本さんに感謝です、長い運転もありがとうございました。